

# 障害者団体等と交通事業者との 意見交換会の取組みについて

---

**名称：** 障害者団体等と交通事業者との意見交換会  
**日時：** 平成30年9月19日（水） 13:30 ～ 15:00  
**場所：** 新潟市総合福祉会館 5F 503号室  
 （新潟市中央区八千代1-3-1）  
**主催：** 北陸信越運輸局（交通政策部消費者行政・情報課）  
**議題：** ① 要望事項に対する回答  
 ② 質疑、意見交換

**参加者：** 新潟市身体障害者福祉協会連合会 会長  
 新潟交通株式会社乗合バス部運転保安課 課長  
 新潟交通観光バス株式会社営業部運行管理課 課長  
 新潟県立大学人間生活学部子ども学科 教授  
 社会福祉法人新潟県視覚障害者福祉協会（要望書提出）  
 NPO法人新潟市ろうあ協会（要望書提出）  
 マザーズフレンドくらぶ（要望書提出）  
 北陸信越運輸局交通政策部消費者行政・情報課

主な意見・要望	交通事業者からの回答
<p>停車中のバスの行き先がわからないので、音声で案内を停車中に流し続けることができるよう、システムを改善してほしい。</p>	<p>システム改善には音量、設備等の問題点もありますが、停留所に着いたら車外マイクに切り替えてアナウンスをすることとしているので、これを徹底させていくことで若干改善できるものかと思えます。</p>
<p>万代シティバスセンターの乗降口の手すりに番線を点字で明記してほしい。</p>	<p>取り組みやすい課題だと思えますので、時期は示せませんが点字テープなどで検討していきます。</p>
<p>聴覚障害者としては情報不足なので、バス乗り場やバス車内などに情報掲示板（電子的）を付けてほしい。</p>	<p>以前に比べ、乗り場や車内に情報掲示板を増やしましたが、古いタイプのバスなどの課題もあります。今後も増設できるよう努力していきます。</p>
<p>ICカードをチャージする場所が少ない。子供がいると手がふさがるので、バスに乗ってからのチャージが難しい。自動チャージには抵抗があるので、チャージの場所を増やしてほしい。</p>	<p>今はオートチャージが増えているのでそちらに切り替わっているなという認識がありますが、利用頻度を調査し検討していきます。</p>
<p>乗客に対する意識改革が一番望まれるところ。子育て中のママに対する視線が、もっと温かくなると嬉しい。</p>	<p>子育て中のママに対する視線が、もっと温かくなると嬉しいというのは同感です。今年は乗務員へのモラル教育を重点的に実施しておりますが、何も考えないですぐに行動できるよう運転手に浸透させたいと思えます。</p>